

菰樽がもつ意匠性と趣きを残しつつ、新しく構成された 1.8L サイズの清酒容器  
「packa酒」を新発売  
製造困難に陥る伝統を、量産に適したニュースタイルで商品化

【packa 酒について】

小泉製麻株式会社（本社：神戸市灘区 代表取締役社長 小泉康史、以下 小泉製麻）は、製造困難に陥った 1.8L サイズの小型菰樽（\*1）を新しいスタイルで商品化しました。

1.8L サイズの小型菰樽は木樽ではなく、ガラス瓶とプラスチック製プロテクター（\*2）から作られています。小泉製麻は、内容物を当社品のスパウトバッグ（軟包材パウチ）と段ボールケースに置き換えました。

従来型の小型菰樽よりも、実用的かつ環境負荷を軽減した packa 酒は、当社品のスパウトバッグ（パウチ型容器）を使用することで、プラスチック使用量は約 33%削減、容器は約 80%軽量化を実現しました。折りたたみ可能な内袋・外装ケースは輸送時の CO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。加えて、容器の分解・分別が容易になり、廃棄物処理にかかる環境負荷も軽減します。

また、従来品の小型菰樽（ガラス瓶とプロテクター）では、できなかった「鏡開き」の趣きを楽しめ、意匠の自由度が高く、新様式の伝統を提供することが可能となりました。

採用したスパウトバッグはガスバリア性が高く、酸化による内容物の品質劣化を抑制します。

ガラス瓶と比べ軽く、割れないため、日本の伝統を楽しく体験できる本商品は、清酒の輸出拡大にも貢献できると考えています。

また、外装箱は微細な表現ができるため、意匠の自由度が高く、現代のインテリアに馴染むデザインにも、キャラクターとのタイアップ品も可能で、従来よりも幅広い展開を創出できます。

（\*1）菰樽とは、結婚披露宴や祝賀会等のイベントで、酒樽の蓋を開く「鏡開き」をして参加者へお酒をふるまう液体容器。

（\*2）プロテクターとは、ガラス瓶と菰の間に入ったプロテクター緩衝材



【開発の背景】

1.8L サイズの小型菰樽は、材料となるガラス瓶とプラスチック製プロテクターの生産終了と菰を巻く作業者の不足により、製造が非常に困難になっていました。このままでは 1.8L サイズの小型菰樽が無くなってしまいう「段ボールを代用とした違った容器で小型菰樽を作ってみよう！」という声上がり商品化に向けて始動しました。

職人伝統を新しいカタチへ、そして量産に適しながらも環境適応性が高い、菰樽型の液体容器ケースの開発に着手しました。

Packa 酒用ケースの意匠性と強度のバランスには、とても苦労しました。意匠にばかり気を取られると強度が弱く実用性に欠け、強度を取ると意匠性が損なわれます。また、鏡開きの楽しさを残しつつ設計に落とし込むことが難題でした。

【今後の動向】

「packa 酒」は清酒用であるため、今後は焼酎やワイン、ジュース等にも合うカタチを開いていきたいと考えています。



【価格】 オープン価格  
【担当部署】 小泉製麻(株) B I B 営業部 (078)841-9342

■会社概要

社名	: 小泉製麻株式会社
代表者	: 代表取締役社長 小泉 康史
所在地	: 〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号
創業	: 1890年(明治23年)6月
事業内容	: 産業用繊維製品・緑化土木資材・農業資材などの製造販売・開発
URL	: <a href="https://www.koizumiseima.co.jp">https://www.koizumiseima.co.jp</a>

packa 酒 使用動画



小泉製麻グループ

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社小泉ビジネスソリューション

広報担当者 : 篠原 麻裕子

TEL : 078-841-4142 FAX : 078-841-4145

HP アドレス : <https://koizumi-bs.co.jp>

e-mail: [shinohara@koizumi-jm.jp](mailto:shinohara@koizumi-jm.jp)